

当 部局経営方針>	市 2024年度
<u> </u>	

1	総務部・・・・・・3
2	企画部・・・・・・ 5
3	市民福祉部・・・・・ 7
4	観光文化スポーツ部・・10
5	農林商工部・・・・・13
6	建設部・・・・・・17
7	教育委員会・・・・・20
8	病院事業(医療局)・・・23

幸福度全国No.1を目指すまち

本市では、幸福度全国No.1という市政理念の実現を目指し、地域を次世代へ継承するため、市民の皆さまの声をお聞きしながら、直面している課題解決や市民の皆さまの喜びにつながるような、結果/成果を重視した施策を推進します。

幸福度の定義

感情的で一瞬しか続かない短い幸せHappinessでなはく、身体的、精神的、社会的に良好な状態を持続する長いスパンでの幸せ「Well-being(ウェルビーイング)」を幸福度の定義とします。



仙北市長 田口知明

7つのあるべき姿

- ①「目標を持ち、やりたいことがある人が多いまち」
- ②「やりたいことにチャレンジしている人が多いまち」
- ③「日々の暮らしで生きがいを感じている人が多いまち」
- ④「暮らしの中で、健康になれるよう努力をしている人が多いまち
- ⑤「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち」
- ⑥「頼れる人がいるまち」
- ⑦「自分の居場所や役割があるまち」

部局経営方針とは?

各部局の取組を市民の皆様に広く周知するため、次年度予算編成時期に作成、翌年4月には予算の状況や法令改正、組織再編・人事異動などにより見直しを行います。部局長は部局の経営者であるとの視点から、その権限と責任に基づく経営方針を明らかにするとともに、各部局の役割・使命や取り組むべき課題などを示しています。



総務部	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	大澤裕司	記入者所	所属氏名	属氏名 総務部長		長大澤裕司			
1 部の役割 休会	していく	(部門になり)	ます。							円滑な施策推進と連携を記		2.部0	の人的 (人)	正職員	87			
1・計の行文制・作中	.部の役割・使命 確実な市民サービスを実施するための人材育成と組織力強化、持続可能な行財政基盤の確立、情報を 的確に届ける広報の強化、DXを活用した業務効率化の推進、的確な災害対応と安全・安心なまちづくり を実践していきます。 現在 会計年度 21										21							

		,					
3	(1)市民一人ひとりのために	誰一人取り残すことのない施策の全庁的な展開の推進に努めるとともに、市民一人ひとりのニーズに耳を傾け、 市民サービスの向上を目指し、業務の改善、新たな施策をたゆまず進めます。					
・ 6 つ の	(2)常に目標・目的を問い続け	市民一人ひとりのニーズに即した施策の実施にあたり、目標や目的の設定の妥当性までに遡り施策の進捗状況、目標達成状況を定期的に確認するとともに、状況に即した施策に修正し、より実効性の高い施策を展開します。					
の重要視	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	業務システムの集約化、行政手続きのオンライン化などの新しい手法を積極的に活用し、業務の効率化を図るとともに、市民にもそれらをの手法の恩恵が得られるような施策の展開を目指します。また、前年度に引き続き業務量調査を継続して行うことで人員配置及び人件費の適正化を進めます。					
すべ	(4)心身共に健康で	すべての職員が心身ともに健康で職務にあたれるような職場環境の整備に努めます。					
き価値	(5)市役所内·市民·企業·団体などと 柔軟に連携し	総合的な施策の展開を図るため、全庁的な連携に努めます。また、市民サービス向上のため、ニーズの把握努めます。さらに、所管事項に関連する団体との連携により施策の効果を最大限に高めます。					
	(6) コスト・成果にこだわる	全庁的な財政健全化に向けて、予算の編成から執行まで、より効率的かつ効果的な施策の展開を目指します。					

・取り組む	決課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
人(〇 職職う 【「、政査 〇	総務課)	①人材確保 中長期計画を踏まえながら、地域の実情や行政需要の変化への対応や、確保・育成 が困難な人材の補完、組織の魅力を効果的に発信。 ②人材育成 職員研修を通した人材育成、人事評価を活用した職員の育成。職員アンケートの実施。チャレンジする人材確保。 ③職場環境の整備 育児・介護等と仕事との両立支援、組織や仕事に対する貢献意欲の向上。	①専門職員採用各年I人以上 ②職員研修者数 2019年度 84人 2022年度 53人 2023年度 80人 ③男性の育児休暇取得率 2019年度 20.0% 2022年度 14.3% 2025年度 100% ※各年度公表値
持サ() 画 C 持め依 【 経イ20 C	持続可能な安定した財政運営を確保するため、歳出のスリム化を図り、臨時的な財源に 変存しない財政構造を確立すること KGI】 経常収支比率の改善(対前年度対比▲2ポーツト)、一定以上(標準財政規模の10%~0%)の財政調整基金現在高の確保	本市における近年の予算編成は、ふるさと仙北応援基金や財政調整基金の取崩しに頼ったものとなっており、外的要素により致命的な影響を受けるおそれがある。その危機的状況を克服し、将来を見据えた持続可能な財政構造の確立のため、引き続き部局を超えて連携し、次の事業に取り組む。 ①施策評価(主担当:企画部) ②事務事業評価(主担当:企画部) ③補助金評価 【参考】財政調整基金残高の目安(標準財政規模の10%~20%) ※11億5,827万円~23億1,654万円 2022年度標準財政規模:115億8,273万8千円 総体的な業務時間の削減のため、時間外勤務の削減、年次有給休暇取得を推進する。 ④業務量調査結果に基づく人員配置及び人件費の適正化 (主担当:総務課、事務事業総合調整室)	

4. 取り組	目む課題と目標とする達成水準 (組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
	○施策名(関係する課) 消防体制の充実·防災体制の強化	近年多発している豪雨災害をはじめ、本市特有の火山災害など各種事案に対応するため、消防団員の確保、災害時の情報伝達手段の充実等、災害対応の充実を図ることが必要である。	施、女性消防団員の勧誘強化 ①女性消防団員の活動を年5回以上
	(総合防災課) ○達成水準(KGI)	 ・①減少傾向にある消防団員数を増やせるよう、募集活動を強化し、地域防災力の向 上に努める。	実施 ②情報伝達システムの構築
課題3	【KGI】 消防団員数:現状維持(462名) 自主防災組織:37組織→40組織 ○関係計画等 ·第2次仙北市総合計画 ·仙北市地域防災計画	②防災行政無線や安全安心メール、SNSなどを最大限活用し、情報発信に努めるとともに、次世代の情報伝達システムを構築する。 ③各町内会等自主防災組織結成を推進し、災害時における自助・共助の意識啓発に努める。併せて既存団体へは、毎年の訓練実施や防災教室の開催を促すなど組織の活性化を図りながら、活動を継続していけるよう支援を継続する。	③大規模訓練を年2回実施 ③町内会防災学習を10回以上実施 ③街頭での防災啓発活動5回以上実 施
課題4	・仙北市国土強靭化地域計画 ○施策名(関係する課) 課税の適正化及び公平な負担の実現 (税務課、収納推進課、固定資産税調査室) ○達成水準(KGI) 【KGI】 ・固定資産税実地調査の推進 土地 約224,000筆 家屋 約 27,500棟 ・目標収納率の達成 普通税 96.1% ○関係計画等 ・仙北市固定資産税(土地・家屋)実地 調査計画	固定資産税の適正課税のために、地方税法第408条に基づく実地調査を行う。 ①土地実地調査 ②家屋実地調査 ③土地家屋登記簿照合 市内全域調査完了後は、5年間で全域を調査する等、定期的に調査を行っていく。 ④税負担の公平性や自主財源確保のため、滞納者に対し納付干渉、財産調査及び適正な滞納処分を行う。	○目標調査件数 ①実地調査 2023年度 土地31,400筆 2024年度 土地93,000筆 2025年度 土地93,000筆 ②2023年度 家屋27,500棟(2023のみ) ※2023年度から2025年度の3年間で全域の調査を終える。 (土地調査済6,600筆あり) ※2026年度からは5年間で全域の調査を実施する。 1年間で土地44,800筆家屋5,500棟 ③登記簿照合 2023年度家屋27,500棟(2023のみ) 2024年度土地112,000筆 ○目標収納率 ④2024年度土地112,000筆 ○目標収納率 ④2024年度から2026年度は、2023年度目標収納率(普通税 96.1%)を目標値とする。
課題5	○施策名(関係する課) 行政手続きのDX 促進 (事務事業総合調整室および各課) ○達成水準(KGI) 【KGI】市民意識調査「持続可能な行財政 基盤の確立並びに行政サービスの充実」の満足度 ※「満足」・「やや満足」の合計 ・現状(2023) 4.6% ・目標(2025) 25.0% ○関係計画等 ・仙北市DX推進計画	いつでも・どこでも・簡単に手続きが完結する行政サービスをめざし、次の事業を検討する。 ①行政手続きのオンライン化 ②証明書コンビニ交付サービスの拡充 ③書かない窓口 ④交通弱者も利用可能な行政サービスのあり方(行政MaaS)	① ・オンライン化した手続きの数 50件 ・オンラインで受理した申請件数の割合 50% ② ・証明手続きの数 5件 ・コンビニ交付件数の割合 12% ③書かない窓口による証明発行件数の割合 10% ④交通弱者向けサービスの年間利用 件数 30件
課題6	○施策名(関係する課) 公共施設等マネジメントの推進 (管財課、公有財産所管課等) ○達成水準(KGI) 【KGI】建築系公共施設の総延床面積を 35%減(2016年度から2045年度までの 30年間) ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・仙北市公共施設等総合管理計画	公共施設について長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことで財政負担を軽減・平準化することが必要である。 ①市有財産や市有施設のうち、今後活用が見込めない施設は、除却・譲渡を推進する。 ②各公共施設等のマネジメントをより効果的に行うため、公共施設等マネジメントの仕組みを構築し、施設の対策優先順位を定める。	①除却 5施設、譲渡 7施設 ②公共施設等総合管理計画及び個別 施設計画の見直しを2025年度末に 完了



企画部	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	齋藤 洋	記入者所	所属氏名	企画	部長 齋藤	· 詳
I.部の役割·使命	するた たって	めの旗振り役は柔軟且つき	ひとして、第2 部局横断的な	次仙ょ連担	北市: 隽を図	総合言]り、前	†画等 例に	手を とら	適宜見直しなっ われない新た	山北市を幸福度全国No.1のる がら着実に実行します。実行になる。実行になる。まででない。 な視点での政策立案を行うと	こあ :とも	資源		正職員	16
1.的《月文书》 反 中	に、徹 す。	底的に無駄を	を排除し、貪名	次に"	「稼ぐ"	"市役	所に	変貌	見させ、喫緊の	課題である財政健全化を実現	見しま	2023 現	30401 !在	会計年度	8

3	(1)市民一人ひとりのために	持続的で内面に根ざした幸せ(well-beingウェルビーイング)を幸福と捉え、常に市民の声に耳を傾け、全ての市民が幸福度に満たされる仙北市を目指します。
6 つ	(2)常に目標・目的を問い続け	第2次仙北市総合計画等に掲げた施策の実施にあたり、市民意識調査により市民ニーズを的確に把握すると ともに、実態に見合った形に常に計画を見直します。
の重要	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	前例に囚われず、常に広い視野で物事を捉え、新たなトライを繰り返します。
視す	(4)心身共に健康で	職員も一市民であり、明るく風通しのよい職場づくりにより、プライベートでの充足感を得られるワークライフバランスに配慮します。
べき	(5)市役所内·市民·企業·団体などと 柔軟に連携し	庁内連携を強化し、総合的に施策を進めます。また、関係団体との連携を密にし、常に最新の情報を得て事業 効果を最大限に高めます。
値	(6) コスト・成果にこだわる	行財政改革を強力に進め、財政健全化を必ずや実現します。常に結果にこだわり、結果がでない場合はその原因を探るとともに手法を見直します。

4. 取り組	ままでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
	○施策名(関係する課)・移住定住の促進(まちづくり課)・多様な生活スタイルへの対応、近未来技術実証・実装の推進(企画政策課)○達成水準(KGI)【KGI】	にはない観光、アクティビティ、リトリート体験など市の魅力を最大限にアピールし、移住・定住者の増加を図る。併せて、空き家対策の拡充、結婚支援などに取り組む。 A 移住おもてなし事業 (新規:移住体験ハウス、移住ワンストップセンター開設) B 移住者へのきめ細かな対応 (新規:雪かき体験、定着のための助成など) C 空き家対策 (新規:空き家ワンストップセンター開設) D 定住促進奨励金・就業者等移住支援金 E 結婚新生活支援事業補助金	ABCDE)秋田県移住定住登録に登録した移住者数 15人/年 F)新型モビリティ等の導入検討による既存路線の見直し 1路線以上/年 G)市内スタートアップ企業によるデジタル人材育成講座開設バックアップ 1件以上/年
課題丨	《メイン》 2025年生産年齢人口 10,002人以上 (仙北市人口ビジョン別冊(2023年度作成)より) 《サブ》 2025年社会増減数 -324人以内 (仙北市人口ビジョン別冊(2023年度作成)より)	②本市における最大の課題は、若者の進学、就職に伴う社会減(18才の崖)にある。コロナ禍は社会生活にネガティブな変化をもたらしたが、一方でテレワーク・ワーケーションやサテライトオフィスなど新たな価値観を生んだ。2023年度までの3年間、国交付金を活用して実施したサテライトオフィスの誘致事業について、市単独による自走の目途が立ったことから、事業自体を農林商工部に移管して実施する。また、同じくデジタル人材育成事業について、今後、市単独で行うための展開スキーム・マニュアルが整ったことから、市内スタートアップ企業と連携して実施する。 F新型モビリティサービス導入・企画事業(市単独事業:まちづくり課) Gデジタル人材育成事業(市単独事業:市内スタートアップ企業と連携)※サテライトオフィス誘致PR・企画運営事業(市単独事業・2024商工課に移管)	H)インターナショナルスクール運営法 人の設置に繋がる市内視察件数 I件
	○関係計画等 ·第2次仙北市総合計画 ·第2期仙北市総合戦略 ·第2期仙北市SDGs未来都市計画	③これまで培った仙北市のインバウンド対応力やロケーションを最大限に発揮し、昨今国内に開校が相次ぐインターナショナルスクールの誘致に取り組み、少子高齢化の改善、地域経済の発展及び関係人口の拡大を図る。 H インターナショナルスクール誘致事業 (デジタル田園都市構想交付金(以下「デジ田」と略):地方創生推進交付金タイプ)	

4. 取り組	ままではまたまではませいます。また。 日む課題と目標とする達成水準 (組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題2	○施策名(関係する課) 持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実(企画政策課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 ・市民意識調査 幸福度高(7~10)の割合45.0%以上(2023年度36.1%) ・財政調整基金繰入額 0円 ●法定外目的税等の市民認知度向上 ●「先進事業等」に惹かれて移住した人の数 ※●は2024市民意識調査等の結果を踏まえ目標数値を設定 ○関係計画等 ・第2次仙北市総合戦略 ・第2期仙北市SDGs未来都市計画 ・仙北市行財政改革に係る事業・施策評価 実施要領及び同評価要領 ・仙北市財政健全化庁内検討委員会設置要綱	化庁内検討委員会により、歳入の増加("稼ぐ"市役所)、歳出の削減、施設管理や事務事業の見直しなどを最優先で進める。あらゆる方向から検討を進め、仙北市政策調整会議での議論を経て施策を立案して予算化に結びつける。 2023年度にスタートさせた法定外目的税(宿泊税等)・普通税(空き家税等)などの検討を加速化させるほか、現在、市議会に提案中の庁舎機能の移転・集約を目指す。 A 法定外目的税等(宿泊税など)の導入 B 庁舎機能の再々編(総務部との連携により実施)※現在議会に提案中 ②メルカリshopsの活用によるSDGsへの取り組み姿勢をアピールし、ふるさと納税(個人版・企業版)のさらなる増加に取り組む。2024年度は特に企業版ふるさと納税の増加に取り組む。 C 個人版ふるさと納税 D 企業版ふるさと納税 ③財政調整基金の枯渇、ふるさと納税頼みの予算編成など危機的な状況にある財	指す B)合併特例債の発行期限である 2025年度末までに移転・集約を完了する。 C)個人版ふるさと納税 東北トップ6入り 27億円以上/年 ◆2022年度東北ランキング I位 気仙沼市 49億 2位 花巻市 46億 3位 山形市 43億 4位 寒河江市 42億 5位 天童市 36億 6位 上山市 27億
課題3	○施策名(関係する課) 公共交通機関の維持と利便性の向上 (まちづくり課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 ・まちづくり満足度(公共交通施策)2025 年度:30%以上 ●行きたいときに行きたい場所へ行けている人の割合 ※●は2024市民意識調査等の結果を踏まえ目標数値を設定 ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市終合計画 ・第2期仙北市SDGs未来都市計画 ・仙北市地域公共交通計画	①仙北市地域公共交通計画において定めた地区別年次計画に基づき、下記の事業を行う。また、全地区において公共交通座談会を開催し、市民・利用者の声を施策に反映させる。 A 既存公共交通の見直し(市民バス・デマンド型タクシー等) B 民間バス路線の廃止に伴って生じた不便さの解消 C 3年目を迎える「よぶのる角館」の安定運行と4年目以降に向けた検討 D 財政難を踏まえた秋田内陸線への支援スキーム見直し	A)見直し地区数 1件/年 B)公共交通座談会などによる市民との対話 9箇所/年 C)よぶのる角館利用者数 前年度以上(2022年度利用者数6,286人)※2024年度内に新たな協定を締結すること D)赤字補填額 2億円以内/年(県・北秋田市等との合計)
課題4	○施策名(関係する課) ・男女共同参画社会の実現 ・地域活性化関連事業 (いずれもまちづくり課) 「とはなりでは、というでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	①女性が働きやすく、活躍できる環境づくりを進めるため、女性の声を市政に取り入れ、支援するとともに男女共同参画社会の形成を積極的に図る。特に若い女性の転出超過を改善するため、子育で部門との連携を強化する。 A 男女共同参画推進委員会、女性活躍推進協議会の開催 B 女性の声を市政に反映(女性向けLINEアンケートの実施) C 市政等への女性参画率向上 D 子育てに理解のある職場環境整備 E 結婚を望む方への積極的支援 ②少子高齢化が顕著で人口減少に歯止めがかからず、地域コミュニティの維持に大きな影響を与えている。平成22年に始まった地域運営体事業は役員の高齢化などの課題を抱えているが、地域の拠り所として市民が将来にわたり安心して暮らせるよう維持していく。また、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、多方面から地域コミュニティへの参画を促すとともに新たな"気づき"による地域活性化を図る。F 地域運営体の維持 G 地域おこし協力隊制度の積極的な活用 ③戊辰戦争時に角館の町並みを守った「濱田謹吾少年」に由来する長崎県大村市・善き往会との交流、佐竹氏の繋がりを由来とする秋田市、茨城県常陸太田市との3市連携交流を中心に国内交流を市民レベルで活性化を図る。 H 積極的な国内交流の推進	知っている人の割合 100.0 % B)アンケート実施回数 1回/年 C)市審議会等委員女性の選任率 30.0% D)在職市管理職のイクボス宣言率 100.0% E)結婚支援センターに入会した人の成婚率 10.6%以上(成婚数 17組/入会者累計 160人※2022までの累計) F)地域運営体あり方検討会の開催 1回以上/年



市民福祉部	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	草彅 秀典	記入者所	所属氏名	市民福祉	业部長 草	彅 秀典
市民福祉部の使命は、市民の生活・健康を守り支えていくことになります。 少子高齢化の様々な課題に対応し、健康寿命の延伸と子育て支援の充実を図るための各種施策を通じて 幸福度の向上に貢献していきます。 資源(人)										158					
1.部沙汉部 使邮	.部の役割・使命 市民が住み慣れた場所で、自分の居場所を持ち、健康で生きがいを感じられる、人と人がつながる共生の 2023040 I										130				

3	(1)市民一人ひとりのために	ライフステージやイベントに合わせ、サービスが必要な方について誰一人取り残さずサービス提供ができるよう 配慮し、一人ひとりに丁寧に接します。
・ 6 つ	(2)常に目標・目的を問い続け	業務の目標・目的を常に意識し、変化する制度の影響については、その趣旨に則っているのかの見直しを行います。
の重要	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	DXをはじめ、所管するシステムや基幹システムの標準化・オンライン化を進め、それを活用できる体制を整えて、利用者の利便性向上や職員の事務作業軽減を図ります。
視 す	(4)心身共に健康で	常にコミュニケーションをとることに努め、職員相互に変化への気づきができる働きやすい職場環境を作ります。
べき価	(5)市役所内・市民・企業・団体などと 柔軟に連携し	重層的な支援体制ができるように、それぞれの役割と責務に基づき対等な立場で協力し相互に補完し合って連携していきます。
值	(6) コスト・成果にこだわる	市民の生活と健康の維持への影響とコストの妥当性を常に意識して事業を行い、幸福度の向上を目指します。

4. 取り組	aむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題ー	○関係計画等	者までの健康対策を立てることで自分らしく健やかに健康寿命を延伸する健康づくりに取り組む。特定健診受診率の目標については現在策定中の2023年度国保データへルス計画次期計画にて見直すこととする。また、個別医療機関健診での受診者数も増加しているが、2020年度から始まった医療機関受診結果により健診を受けたとみなす診療情報提供数が増えていないため、医療機関へ制度の周知や協力依頼が必要。 A健康増進事業 B予防事業 C大腸がん予防事業 ②健康ポイント事業は昨年度の評価に基づき目標値500人を200人に修正し、広報やHPの活用及び景品の見直し等を行った結果、2022実績値は昨年度のおよそ2.2倍となったが、目標値未達のため今後さらに手法を検討する。 D健康ポイント事業	であり、市民の幸福度や医療費、人口減少に直結することから、今後さらに注力すべきと考える。 口 2024年度目標 ①特定健診受診率42% (2022-41%) ②健康ポイント事業参加者200人 (2022-160人) ③ゲートキーパー養成講座受講者数 (心の健康づくり・自殺予防対策事業) 150人(2022-77人) ④PHRによる伴走型生涯健康ダイアリーサービス利用件数 1,000件
	・健康せんぼく21計画・仙北市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)・仙北市自殺対策計画○施策名(関係する課)	定し、年間 I 50人を目標値としたところ、2022年度は77人の受講があったので更なる上積みを図る。 E 心の健康づくり・自殺予防対策事業 ①農山村地域に居住する高齢者等の交通弱者については、医療機関への通院手段	2024年度目標
	医療体制の充実 (保健課)	A 医療MaaS管理運営事業	サービス利用回数1,000回 (2022-0回) ②PHRによる伴走型生涯健康ダイア
		②健康に関するデータを一元管理のうえ、可視化させることで市民の健康意識を喚起し、健診受診率を向上させるとともに、日々の食生活や運動習慣に対してもPHRアプリで介入することで生活習慣病の予防を図る。これらのセルフケアによる健康の維持・増進を通じて市民の健康寿命延伸へと繋げる。 BPHR管理運営事業(DX)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
課題2	医療Maas事業とPHRを利用する市民の満足度を向上させる。	介護老人保険施設「にしき園」では、パワーアシストスーツや自立推進トレーニングロボット等DX機器を導入し、介護作業の効率アップ、作業負担の軽減、疲労低減を図っている。	
	○関係計画等	※医療MaaS: MaaSは「Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス)」の略称で「サービスとしての移動」という意味。医療機器搭載の車両を導入し、マイナンバーカードを活用した交通弱者等向けの遠隔医療や健診に活用するもの ※PHR: 「Personal Health Record (パーソナル・ヘルス・レコード) の略称で、生	
	_	涯にわたって保持する電子カルテ(生涯型電子カルテ)のことで、マイナポータルに紐付けられた個々の健康・医療・介護などの医療情報・データを一元的に記録・管理するソフトウェア ※パワーアシストスーツ:電動アクチュエーターなどを人体に装着することで、人間の動きをサポートする装置のこと	

4. 取り組	aむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題3	○施策名(関係する課) 子育て支援保育の充実 (子育て支援課、保健課) ○達成水準(KGI) 出生率の向上を目指すとともに第2子をもうけやすい環境の構築を目指す。 【KGI】 仙北市市民意識調査満足度(満足)・安心安全な出産育児 2023:4.4%→2025:6.0%・子育て支援保育の充実 2023:3.6%→2025:5.0% ○関係計画等 ・第2期子ども・子育て支援事業計画	両立ができるよう、認定こども園等の施設による教育・保育の推進すると共に、未満児(0~2歳児)特化保育の充実を進め、病児・病後児保育事業を2025年度設置設立を目指します。 A 放課後児童対策事業 B 認可保育園等管理費・運営費 C 教育・保育施設給付費 D 社会福祉法人はなさき仙北補助金 ②各種子ども・子育て支援事業の充実を図るために、2024年度より母子保健機能と児童福祉機能双方を一体的に運営する「こども家庭センター」を開設する。 E 子育て支援拠点事業 F 母子保健対策事業 ③子育て家庭の経済的安定を図るため、児童手当、育児支援金、出産・子育て応援ギフト等の給付や保育料助成、乳幼児等の医療費助成、多子世帯へのファミリーサポート券配布など、適切かつ効果的に実施 G 子育てファミリー支援事業費 H 在宅子育てサポート事業 I すこやか子育て保育料助成事業 J 育児支援金給付事業 K 保育園入所待機児童等支援事業(補助金) ④未満児(0~2歳児)の保育料全額助成による無料化と主食(米)の無償提供を2024年度より行うことで、より一層の子育て家庭の経済的安定を図る。	
課題4	○施策名(関係する課) 低所得者福祉の充実 (社会福祉課) ○達成水準(KGI) [KGI] 生活困窮及び自立支援への相談に対する解決割合100%を目指す。 ○関係計画等 ・仙北市地域福祉計画	I すこやか子育で保育料助成事業 B 認可保育園等管理費・運営費 D 社会福祉法人はなさき仙北補助金 ①生活困窮者自立支援及び生活保護は市民にとっては最後の砦(セーフティネット)であり、市民の幸福度の向上のためには必要不可欠な施策である。相談支援業務では民生委員や社会福祉協議会等とも連携を図り、支援が必要でもなかなか事を上げられない方々の拾い上げや、相談しやすい環境を整え親身になり市民に寄り添った相談支援体制を整える。また、一定の収入があり非課税の対象とはならないことにより、給付金などの対象となりにくい、いわゆる中間層の方々からの相談に対しても、各種減免制度や貸付け等といった他法他施策の助言を行い支援していきたい。複雑かつ高度化してきた相談内容に対応できるべく、各種研修の参加や現任訓練による職員の知識向上も図っていく。 A 生活困窮者自立相談支援事業 B 生活保護事業	A) ·生活困窮者自立相談件数59件
課題5	○施策名(関係する課) 高齢者福祉の充実 (長寿支援課、包括支援センター) ○達成水準(KGI) 【KGI】 仙北市市民意識調査満足度(満足) ・高齢者福祉の充実 2023:4.7%→2025:6.0% ○関係計画等 ・仙北市高齢者福祉計画	①仙北市では高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しているため、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための介護予防や自立支援・生活支援の施策は必要と考える。また、高齢者の自立した生活維持のため、無理なく介護予防やフレイル(虚弱)予防を行う事は健康寿命延伸に一定の効果があるため、LINE・広報・民生委員・チラシ・地域の集いの場等を通して、多方面より事業内容の周知を図り、市民一人ひとりの健康意識を向上させ、今後も地域住民、ボランティア団体、行政等による連携強化を行い地域共生社会の実現を目指す。 A緊急通報装置給付・貸付事業 B高齢者難聴者補聴器購入費助成事業 C高齢者共同生活(相互援助ホーム)支援事業 D予防ケアプラン作成事業 E高齢者世帯等除雪支援事業 F介護タクシー利用助成事業 G介護予防・日常生活支援総合事業	2024年度目標 A)緊急通報装置設置台数 38台 (2022-35台) B)高齢者難聴者補聴器購入費助成 (定数@30,000×15人) C)高齢者共同生活(相互援助ホーム) 支援事業(定員8名) DG)介護予防・生活支援サービス利用 者数 8人(2022-3人) E)天候に左右されるため適切に対応 F)介護タクシー利用件数 30件 (2022-24件) G)介護予防教室利用者数 160人 (2022-151人)
課題6	○施策名(関係する課) 障がい者(児)福祉の充実 (社会福祉課、包括支援センター) ○達成水準(KGI) 【KGI】 障がい者(児)支援制度の利用者満足度 100%を目指す。 ○関係計画等 ・仙北市障がい者計画 ・障がい福祉計画 ・障がい児福祉計画	①介護者の高齢化に伴い、障がい者が在宅で暮らすことが困難になるケースが増えてきており、在宅によるサービスの更なる充実が求められている。障がい者(児)タクシー利用券においては、利便性向上のためデマンドタクシーを利用対象とするように、人工透析通院費は昨今の物価上昇に合わせて支給額単価の増額を検討していく。相談支援事業所が1箇所しかなく、選択肢がないのが課題であるため、積極的に開拓を検討する。今後とも、障がいがある方の生活に沿ったサービスを提供できるよう、関係機関との連携強化を行っていく。また、重層的支援に向けた体制構築を目指す。A特別障害者手当等支給事業B地域生活支援事業C障害者自立支援給付事業D障がい者(児)タクシー利用券給付事業E人工透析通院費支給事業F仙北市権利擁護センター事業	2024年度目標 A)特別障害者手当等支給者数(固定数) B)相談支援事業所数 2箇所(2022-1箇所) C)障害者自立支援給付者数(固定数) D)障がい者(児)タクシー利用券受給者数 210人(2022-173人) E)人工透析通院費受給者数 40人(2022-36人) F)権利擁護相談件数 86件(2022-73件)

4. 取り組	aむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び	事業	指標及び目標値(KPI)
課題7	 ○施策名(関係する課) 母子(父子)福祉の充実(子育て推進課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 子育て支援保育・低所得者福祉・ひとり親福祉の満足度100%を目指す。 ○関係計画等 	①沢山の事を一人で抱え込みがちな「ひとり親家庭」の暮安心で安全な生活を送ることに繋げるため、面談等で子ど化を把握し、必要な時期に必要な支援や制度・手続きの紹A ひとり親家庭福祉事業B 児童扶養手当給付費C ひとり親家庭日常生活支援事業D 母子生活支援施設等入所措置費負担金		
課題8	○施策名(関係する課) 社会保障制度(国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業)の充実(市民生活課、保健課、包括支援センター) ○達成水準(KGI) 社企保障制度(国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業)を充実することで、被保険者一人当たりの医療費を減少させる。 【KGI】被保険者一人当たりの医療費399,572円(2022-438,914円) ○関係計画等・秋田県国民健康保険運営方針・仙北市国民健康保険保健事業計画・秋田県後期高齢者医療広域連合からの委託事業	①被保険者が健やかに暮らすため、疾病の早期発見、早期識向上を図る事業の実施は重要であるが、人間ドック助成保健指導だけでは、医療費抑制への効果が表れるまでは既保険者の高齢化に伴う医療費の増加を抑制することは困難を小さくするための事業を実施することで、健康への意識をA後期高齢者医療短期人間ドック助成費B高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費C後期高齢者健康診査等事業費D特定健康診査等事業費EPHR管理運営事業費F人間ドック助成費	や、特定健康診査や特定 時間を要する。その為、被 誰であるが、その増加の幅 高めていく。 2023年度 1,050千円	成数 50人 B)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業訪問者 II2人 C)後期高齢者健康診査数 I,019件 D)特定健康診査数 I,663件 E)PHR管理運営事業(2024年度より
課題9	○施策名(関係する課) 廃棄物対策と快適な生活環境の維持 (市民生活課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 仙北市市民意識調査満足度(満足) ・廃棄物対策と快適な生活環境の維持 2023:4.7%→2025:6.0% ○関係計画等 ・仙北市一般廃棄物処理基本計画	①不法投棄について、発見・回収件数が横ばいとなっている発展された物もあり、原因者の特定が困難である。また、見ついては進んでいるが、新たな投棄行為の抑止・防止がでる。しかし、本市は県内有数の観光地である。来られた方々う、ごみのポイ捨でや不法投棄を防がなければならない。市に来られる方や往来する方々の廃棄物処理・環境問題に関様々な啓発活動により意識の向上を図る。 A 不法投棄監視費 ※ゴミの処理については、大曲仙北広域市町村圏組合においる。 ・廃棄物減量化対策費・塵芥処理費	A) ・クリーンアップ回数 3回(2022-3 件)	



観光文化スポーツ部	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	小田野直光	次長兼交流デザイン課長 田口聡美 次長兼文化財課長 山形幸子 観光課長 泉谷衆 スポーツ振興課長 金野真悟

	豊富な地域資源(農村の営み、自然や温泉、歴史と伝統)を活用した観光産業の振興、歴史的文化遺産の保存・継承と活用、スポーツによる健康づくりの促進などにより、交流人口、宿泊者数、観光消費額増、市の活性化を図ります。そして、「仕事などやりたいことがあるまち」、「日々の暮らしで生きがいを感じてくれる	7.6007/101	正職員	33
7.600万区的 汉中	まち」づくりを進め「全国幸福度No.1」を目指します。	20230401 現在	会計年度	23

3 . 6 7	(1)市民一人ひとりのために	事業を進める上で、市民ニーズを的確に把握し、市民生活の向上につながることを目指します。
	(2)常に目標・目的を問い続け	これまでの取り組みを点検し、変化する社会を見据えた目的の修正、新たな目標の検討を行います。
の重要	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	情報収集に努め、DXなどの新たな手法を検討し、新たな情報発信、業務効率化などを行います。
視 す	(4)心身共に健康で	部職員の業務量、心身の状況に配慮し、働きやすい職場環境をつくります。
べき価	(5)市役所内・市民・企業・団体などと 柔軟に連携し	目標達成に向け、庁内各部署、市民、関係団体、企業等と積極的に連携します。
值	(6) コスト・成果にこだわる	事業の費用対効果、成果検証、スクラップ&ビルドを意識し、限られた予算で目標とする成果を出すように努めます。

4. 取り組	lむ課題と目標とする達成水準 (組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
710 Hz 1	○施策名(関係する課) 安心で安全を基軸とした観光誘客態勢の 整備 (観光課)	コロナ前まで450~500万人で推移していた観光入込客数は、2022実績で313万人となっており、同様に宿泊者数も50万人に対し42万人となっており、着実に戻りつつあるも、コロナ前までの水準にもどすための取り組みの継続が必要。 ①観光施設の維持管理・改修を実施し、安全・安心の観光地づくりに努めるとともに、冬季に予定されている秋田県とJRの「重点販売地域(ミニDC)」実施に合わせて大きないよりである。	・観光入込客数 国内・日帰り 2024 360万人 国内・宿泊 2024 44万人 国外・宿泊 2024 33千人
	○達成水準 (KGI)【KGI】観光客満足度 (観光協会来訪者アンケート)2020:42.6%→2022:43.6%→2025:45.8%	て、効果的な観光地プロモーションを実施する。 A 観光施設整備事業費・観光施設維持管理費 B 観光宣伝費 C 桜まちづくり事業費 D 秋田内陸線奥羽北線沿線連絡協議会負担金 ②各種イベントを開催し、観光誘客増加を目指す。 E 角館祭りのやま行事実行委員会補助金 F 上桧木内の紙風船上げ事業	・リピーター率 2024 27% A) ・施設修繕件数 2024 5件
	○関係計画等 ·第2次仙北市総合計画 ·第2期仙北市総合戦略 ·第3次観光振興計画	G たざわ湖龍神まつり開催費補助金 H 田沢湖高原雪まつり開催費補助金 I 抱返り紅葉祭開催費補助金 J 刺巻ミズバショウ祭り補助金	
	○施策名(関係する課) 質の高い観光地形成 (観光課)	①新たに策定した第3次観光振興計画に基づき、質の高い観光地としての高付加価値化を進め、一人あたりの観光消費額を高めることで、稼げる観光化を目指す。 A地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業(観光庁事業) B観光施設維持管理費(Wi-Fiサービス提供) Cミズバショウ群生地木道整備(県補助100%) D(仮)JR、びゅうT&S、観光協会、仙北市の4者連携による誘客・高付加価値に向	・観光消費額国内 2024 251億円国外 2024 8.6億円・観光事業従事者の満足度・幸福度向
課題2	○達成水準 (KGI) 【KGI】 第3次観光振興計画 観光による市民幸福度 (市民意識調査) 2023:17.2%→2025:18.0%	けた取組 E秋田駒ケ岳登山利用適正化協議会負担金 F(仮)デジタル田園都市国家構想交付金による拠点施設の高付加価値化 ②地域DMOである観光協会との連携により、質の高い観光地形成を目指す。 G田沢湖・角館観光協会補助金	上 2024 5.6点 ·観光関連要素別満足度 2024 36.1%
	○関係計画等 ·第2次仙北市総合計画 ·第2期仙北市総合戦略 ·第3次観光振興計画		

4. 取り組	Aむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題3	 ○施策名(関係する課) 質の高い観光地形成(交流デザイン課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 第3次観光振興計画(メイン) 観光による市民幸福度(市民意識調査) 2023:17.2%→2025:18.0%(サブ) 観光客満足度(観光協会来訪者アンケート) 2020:42.6%→2022:43.6%→2025:45.8% ○関係計画等・第2次仙北市総合計画・第2期仙北市総合戦略・第3次観光振興計画 	①豊富な地域資源を活用した体験型観光の通年展開、アフターコロナを意識した都市農村交流、国際交流の新たな形の検討、全国的に高レベルで100人単位のインバウンドグリーンツーリズムの実践者と言われる質と受け入れ件数を確保していくための事業を実施する。また、姉妹校。姉妹湖、温泉やマラソン連携協定を通して多くの市民に海外や市内での国際事業に参加してもらうことで、国際交流を市民レベルまでに展開し国際的な視野を持った青少年の育成と高齢者でも参画可能な事業として位置づけ市民全体の幸福度向上にもつなげていく。 Aグリーンツーリズム推進事業B(一社)農山村体験推進協議会C教育旅行支援事業D台湾教育旅行誘致事業E青少年交流推進事業F国際交流推進事業 F国際交流推進事業	2024 3.3万人
課題4	 ○施策名(関係する課) 交流人口の拡大と特色ある観光(交流デザイン課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 ・観光客満足度(観光協会来訪者アンケート) 2020:42.6%→2022:43.6%→2025:45.8% ・「インバウンド等の交流人口の拡大と特色ある観光」満足度(市民意識調査) 2023:46.9%→2025:60% ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次観光振興計画 	①ワーケーション、オンラインでの打ち合わせ可能な環境整備、武家屋敷通での消費金額の増加を狙ったいイベント、観光を目的としない誘客のためのトライアスロン合宿誘致事業、地域の観光事業者をつなぎ滞在時間の増加を狙った事業等を実施する。実施している交付金事業は市民と今後の観光地形成について議論する機会創出が見込める。また、タイ、台湾からの現地の情報、今後の対策もヒヤリング出来るため国際交流員も含めたそれぞれの意見を取り入れ誘客に向けた取り組み拡大していく。リトリートの推進については2019年度より取り組んできたが、本年からは地域おこし協力隊の任務としての活動と事業を関連付けながら交流人口の拡大、本地域への訪問動機づけ、特色ある観光の推進事業として実施していく。また、冬季に予定されている秋田県とJRの「重点販売地域(ミーDC)」実施に向けて、(一社)農山村体験推進協議会と連携し、体験プログラムの商品造成に力を入れていく。Aグリーンツーリズム・景観価値を活かしたまちづくり事業Bグリーンツーリズム推進事業C(一社)農山村体験推進協議会補助金D教育旅行支援事業E秋田アウトドアベース田沢湖地域活性化事業Fリトリート推進事業(新)②仙北市への海外からの来訪者を増やすため、台湾・タイの現地事務所機能を最大限に活用し、現地でのPR等、積極的な宣伝活動を行うとともに、台湾での商談会や学校訪問を行い、教育旅行の誘致を行う。ジャパンハウスは外務省が世界3都市に展開している観光、商業の拠点だが、2023年には樺細工の取り扱いが始まるなど本事業の成果が出てきている。今後は、観光誘客の展開も視野に入れて事業を展開していく。G国際観光宣伝推進事業H台湾教育旅行誘致事業Iジャパシハウスを活用した宣伝誘客事業	2024 3.3万人 EF)観光消費額 国内 2024 251億円 国外 2024 8.6億円 GHI)訪日外国人宿泊者数 2024 3.3万人
課題5	 ○施策名(関係する課) 歴史的文化遺産の活用(文化財課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 「歴史文化遺産の保存と活用」の市民満足度(市民意識調査) 2023:30.5% → 2025:32.5% ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 	①文化財保護行政の最重要課題は、少子高齢化が進み所有者が個人で文化財を存続させていくことが難しい現状となっていることである。国・県・市の文化財を存続させていくための施策として、マスタープランとなる「文化財保存活用地域計画」を策定し、地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制を構築していく。また、未来に残すべき文化的景観・歴史的遺産を市民共有の財産として正しく継承するため、人材育成を進める。特にサクラを含む樹木保護と観光地角館の持続的な環境保全の観点から、樹木医の育成指導を重要施策とする。 A文化財保存活用地域計画作成事業 B 桜保護管理事業 C 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 D 武家屋敷公開管理事業費 E 旧石黒(恵)家公開事業 F 河原田家公開管理事業費 ②文化財の建築的価値を明らかにし、新たな文化財指定等今後の保存活用施策に繋げていく。また建築の専門職員配置を行い継続的な修理につなげ、本物をのこすための施策を行う。 G 近代和風建築等総合調査事業 H 歴史的建造物調査事業	B)桜保護団体数 2024 9件

4. 取り組	1む課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
	○施策名(関係する課) 自然·歴史的環境の保全と活用 (文化財課、建設課)	①角館を訪れる観光客が武家屋敷に集中している現状を打開するため、駅から中心 市街地・中心市街地から武家屋敷へという動線を作っていく施策が重要である。滞 在時間延長のためには、角館の外町地区を景観重点地区指定に指定することが望 まれるが、「住民理解」と「補助金等の財政措置」が必要である。 まずは、景観に対する住民意識の醸成と景観誘導に対する合意形成が進んでいな い現状を踏まえ、歴史的建造物を登録文化財に指定する等の施策により、所有者が	A)景観学習教室参加者 2024 88 名
課題6	○達成水準(KGI)【KGI】・市全体の景観に対する市民満足度 69.8%→70%(2022→2025)・角館地区の景観満足度 57.1%→60%(2022→2025)	当たり前と思っている景観が特別なものであると「当事者意識」や「価値観」の向上 を図るための取り組みが必要である。 A 歴史まちづくり推進事業	
	○関係計画等 ·第2次仙北市総合計画 ·第2期仙北市総合戦略		
	○施策名(関係する課)生涯スポーツの振興(スポーツ振興課)○達成水準(KGI)	①市民が気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツを推進する。 A 市民スポーツ・レクリエーション事業 B スポーツ推進員派遣事業 C スポーツ協会事業費補助金 ②子どもたちのスポーツ振興や心身の健全育成を推進する。 D スポーツ少年団本部補助金	AB)市民スポーツ・レクリエーションの 参加者数 2024 414人 C)会員数 2024 1,433人 D)団員数 2024 543人 E)社会体育施設の利用満足度 2024 57% F)参加者数 2024 3,315人
課題7	【KGI】 「スポーツを通じた地域振興の推進」満足 度 2023:22.2% → 2025:24.2%	③市民が誰でも気軽に安心安全にスポーツに親しむことができる環境を整備し、機能の充実を図るため、計画的な改修・整備に務める。 E社会体育施設管理運営事業	
	○関係計画等 ·第2次仙北市総合計画 ·第2期仙北市総合戦略 ·公共施設等総合管理計画 ·社会教育中期計画 ·体育施設マスタープラン	④田沢湖マラソンの効率的な運営を図り、参加者や来訪者の満足度向上を図る。F田沢湖マラソン大会負担金	



	農林商工部	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	門脇 朋宏	記入者所	斤属氏名	農林商工	工部長 門	脇 朋宏
	郊の役割, 体会	分野に に、IC	おいては、京 T·IoT等の	北農者を増や 先端技術を活	すた 5用し	め、ほ たス	場整マー	を備事 ト農業	業を	・契機とした法 実践を促進し、	慢性化している現状を踏まえ、 人化や農地集積を推進すると 魅力ある農業の実現を目指し 送し、新たな屋田の場を創出	とも,ます。	-	の人的 (人)	正職員	25
1.部の役割・使命 また、商工業分野においては、工業団地への魅力ある企業の誘致を推進し、 ともに若者が働きやすいと感じる魅力的な仕事の創出、中小企業に対する人性あふれる産業が息づくまちを目指し、幸福度向上に貢献します。										30401 見在	会計年度	11				

3	(1)市民一人ひとりのために	市民の目線をもち、市民ニーズに的確に対応します。			
・ 6 つ	(2)常に目標・目的を問い続け	変化する社会を見据え新しい目標を検討します。			
の重要	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	情報のアンテナを張り巡らし、自ら積極的に新しい情報を得るよう心がけます。			
視 す	(4)心身共に健康で	職員一人ひとりが心身ともに健康で安定した職場環境で仕事が出来るよう取り組みます。			
べき価	(5)市役所内·市民·企業·団体などと 柔軟に連携し	市役所の各部署、市民、企業、関係団体等と積極的に連携します。			
值	(6)コスト・成果にこだわる	限られた予算の中で、最大限の効果が出せるよう意識・努力します。			

4. 取り糸	目む課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題I	○施策名(関係する課) 魅力ある農業の振興 (農業振興課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 農業産出額 2017実績:63億1千万円 2021実績:49億4千万円 2025目標:49億6千万円 (公表時期:2026年3月見込) ※出典:農林水産省 市町村別農業産出額 (推計)	①市の重点品目をはじめとする高収益が期待される園芸作物や6次産業化への取り組み、水稲や大豆、そば等の土地利用型作物の生産性向上や生産コスト低減の取り組みを支援し、農業所得の向上を図るとともに、複合型生産構造への転換及び持続可能な農業体系の推進・定着を図る。 A 夢ある園芸産地創造事業 園芸作物の生産及び6次産業化に必要な資機材・施設整備に係る費用を助成する。補助率:県1/3以内、市1/12以内 B 仙北市畑作園芸等振興事業 水田を活用した畑作園芸品目栽培に必要な資機材等導入費用を助成する。補助率:市1/3以内(上限35万円) C 農業用マルチコプター導入事業 農業用ドローンの機体導入・操作技能認定証取得に係る費用を助成する。補助率:機体市1/3以内(上限50万円)、認定証 市1/2以内(上限8万円、更新の場合は上限5万円) ②食の安全・安心や、多様化する消費者のニーズに対応するとともに、地域の環境や土壌に合った農産物の産地化や、農産物加工品を「売る」ための販売手法や販売業者とのマッチングを、広い視野で支援する。	AB) ・重点作物作付面積 2022実績:101.8ha 2024目標:113ha ・認定新規就農者数 (2019年度からの累積件数) 2022実績:11件 2024目標:17件 ・集落営農・農業経営法人数 2022実績:51組織 2024目標:54組織 C) ・マルチコプター導入台数 (2019年度からの累積件数) 2022実績:20台 2024目標:26台
	○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン(県)	D 6次産業化経営力強化事業(経営多角化支援) 地域資源を活用した6次産業化ビジネス推進にかかる機械・施設整備に対して支援する。補助率:県1/3、市1/6 E 薬用作物等産地拠点化支援事業 生薬メーカーのツムラと連携し、地域の土壌に合ったニーズの高い品目の栽培を促進し、薬用作物の産地拠点化の取り組みを支援する。	・農産物加工施設数 2022実績: I I カ所 2024目標: I 2カ所 E) ・薬草生産組合の薬用作物栽培面積 2022実績: I 6.0ha 2024目標: I 7.0ha

4. 取り組	ままでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題2	○施策名(関係する課) 畜産の振興 (農業振興課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 農業産出額(畜産) 2021実績:5億6千万円 2025目標:6億7千万円 (公表時期:2026年3月見込) ※出典:農林水産省 市町村別農業産出額 (推計) ○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン(県)	耕畜連携(資源循環)による環境型農業の推進や低コスト化を図るとともに、畜産にかかる労働力軽減による経営複合化を支援し、安全・安心な畜産物生産の推進と農業所得の向上を図る。 A 畜産導入事業育種価評価に基づき、優れた育成子畜を導入し、優良子畜生産の推進を図る。補助率(1頭に付き):優良雌牛導入3万円~、優良牛自家保留3万円、肥育元牛導入5万円 B 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業複合型生産構造への転換・定着を推進し、畜産の産出額拡大を図るため、担い手となる経営体等へ支援する。補助率(1頭につき):繁殖雌牛導入24万6千円(うち県補助19万7千円)、自家保留10万円(うち県補助8万円) C 大覚野牧場管理運営事業資源循環を活かした低コスト化や放牧頭数の増加に取り組み、畜産農家の労働力軽減による経営複合化を図る。併せて、大覚野牧場の草地造成及び草地整備を実施し、放牧環境の整備と放牧頭数の増加とともに乾草の増産・増収を図る。草地整備事業が完了し、牧草が生育するまでは牧草地の面積が確保できないため、放牧頭数を制限している。 D 仙北市堆肥センター管理運営事業家畜排せつ物等の適正な処理とともに、有機質資源としての有効利用を進め、畜産環境の改善と資源循環型農業の推進を図る。	 ・肉用牛飼養頭数 2022実績:879頭 2024目標:1,200頭 ・子牛販売頭数 2022実績:220頭 2024目標:330頭 C) ・大覚野牧場への放牧頭数 2022実績:46頭 2024目標:27頭 ※草地整備事業期間及び養成期間は 受入頭数を制限している。 D) ・堆肥センターでの家畜排泄物の処理
課題3	○施策名(関係する課) 農業現場を支える人材の確保 (農業振興課) ○達成水準(KGI) [KGI] 農業従事者数の直近5年間の減少率 2015実績: △21.9% 2020実績: △22.5% 2025目標: △20%以内 (公表時期: 2026年12月見込) ※出典:農林水産省 農業センサス ○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン(県)	農業者の高齢化・離農が進む中、次世代を担う農業後継者が、生産性・収益性の高い技術を習得し安定的・持続的な農業経営基盤確立への取り組みに対し支援するとともに、新たに農業法人を設立する際の相談窓口として体制を整備し、地域農業の担い手の確保に努める。 A 未来農業のフロンティア育成研修事業(補助金)新規就農を目指す若者を対象に、県農業試験場等で研修する研修生へ支援する。月額10万円(うち県補助5万2,500円) B 新規就農総合支援事業(補助金)青年の就農後の経営の安定、定着を図る。・経営開始資金:認定新規就農者に対して支援する。月額12万5千円、国10/10、最長3年間・経営発展支援事業:認定新規就農者の機械・施設等の導入に支援する。補助率:国1/2、県1/4、補助対象事業費上限1,000万円 C 地域で学べ!農業技術研修事業(補助金)新規就農者の大仙市農業振興情報センターでの研修に対し支援する。月額7万5千円	【KPI】 ABC) ・農業法人数 2022実績:41法人 2024目標:44法人 ・認定新規就農者数 (2019年度からの累積件数) 2022実績:11件 2024目標:17件
課題4	 ○施策名(関係する課) 土地改良の推進(農林整備課) ○達成水準 【KGI】 担い手への農地集積面積 2019実績:390.4ha 2024実績:217.3ha 2025目標:340.0ha ○関係計画等 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン(県) 	①生産基盤を整備することにより作業効率や生産性を向上させ、法人等の経営体に 農地を集積することで担い手の育成や機械コストの抑制が可能となり、地域農業の 維持・発展に寄与し農地の大区画化や排水対策等を実施する。現在は、地元負担が 無い農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化 を推進するあきた型が主流となっている。 A 農地集積加速化基盤整備事業(ほ場整備) 県営事業 補助額 国費55% 県費27.5% 市費10% 地元負担7.5% B 農地中間管理機構関連ほ場整備事業(ほ場整備) 県営事業 補助額 国費62.5% 県費27.5% 市費10% ②農業・農村の有する多面的機能の維持・発展を図るため、地域で行う共同作業を 支援し、地域資源の適切な保全管理の推進 C 多面的機能支払交付金事業 補助額 国費50% 県費25% 市25%	AB) ・ほ場整備率

4. 取り組	Lむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
 ○ 施策名(関係する課) 豊かな森林資源の整備と活用促進(農林整備課) ○達成水準 【KGI】 ・林業就業者数		①仙北市の管理する林道(市内98路線)の維持補修、林道橋(市内約48橋)の調査 補修工事を実施する。また、林業者の後継者不足を補いながら管理の行届いていない私有林人工林の整備促進に寄与するため、森林環境譲与税を活用しながら森林資源の活用の推進を図る。 A 林道維持補修費(林道ト湖) 森林環境譲与税 100%充当 C 秋田林業大学校研修費補助事業森林環境譲与税 100%充当 D 再造林支援事業費補助(2023新規)森林環境譲与税 100%充当 E 人材育成・担い手支援事業費補助金(2023新規)森林環境譲与税 100%充当 F 林地台帳整備事業森林環境譲与税 100%充当 G 森林経営管理制度事業森林環境譲与税 100%充当 G 森林経営管理制度事業森林環境譲与税 100%充当 ②地域林政アドバイザーによる森林経営に入っていない森林の抽出、私有林整備に関する意向調査の箇所選定、森林所有者の調査、森林経営管理制度に関する業務、経営管理権集積計画の作成業務補助事務等を委託する。 H 森林経営管理制度事業森林環境譲与税 100%充当 ③仙北市の鳥獣による農林水産業等の被害を防止・軽減させるため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律による仙北市鳥獣被害対策実施隊を設置し被害防止に努める。また、近年ツキノワグマの出没が増加し人身被害も多くなっており、実施隊員の若返りや拡充と共に檻の増設が求められている。 I 有害鳥獣駆除事業	【KPI】 AB) ・林道橋補修数(累計) 2022実績:3橋 2024目標:4橋 CE) ・新規林業者数(累計) 2022実規:5人 2023見禄:7人 2024目標:9人 C) ・林業経営体新規雇用数(累計) 2023見標:10人 D) ・再造林支援事業活用面積 2024目標:10ha 2024目標:下刈面積 20ha 2023見標:下刈面積 20ha 2024目標:下刈面積 20ha FGH) ・森林経営管理制度による調査面積 (西木地宮:累計) 2022年間標:1,126.07ha I) ・鳥獣被害対策:10人 I)・鳥獣被害対策:10人 ・市所有クマ規:25基 2024目標:30基
課題6	○施策名(関係する課) 中山間地域及び耕作放棄地の 有効活用 (農業振興課、農業委員会) ○達成水準 【KGI】 農林水産業所得額 2015実績:6億1千9百万円 2020実績:7億1千3百万円 2025目標:7億5千万円 (公表時期:2028年4月見込) ※出典:秋田県秋田県市町村民経済計算 (市町村民所得)	市内農地の大半を占める中山間地域等において、農用地集積による利用の最適化を図るとともに、農用地の適切な維持管理及び多面的機能の発揮を図るため地域の共同活動等に支援する。 A 農地利用最適化交付金事業 農業委員会の積極的な活動を推進するため、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消活動、新規参入の促進等の農地利用の最適化に向けた活動を推進する。 B 中山間地域等直接支払事業 農業生産条件が不利な中山間地域等において、農用地を維持管理するための協定に従い農業生産活動等を行う集落等に対し支援する。 C 多面的機能支払交付金事業(再掲)農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。 D 地域計画策定推進緊急対策事業 地域の農業を維持・発展していくため、農業者等の話合いに基づき、地域が目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を策定する。	ABCD) ·耕作放棄地面積 2022実績:45.2ha 2024目標:29.0ha
	○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン(県)		

4. 取り組	aむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)		
課題7	 ○施策名(関係する課) 商工業の振興(商工課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 創業・経営塾受講者のうち創業者数2019実績:10人2020実績:11人2025目標:33人 ○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 	市内企業へ多様な人材確保支援、意欲のある事業者や起業者等への支援、後継者不足による廃業防止支援を行い、地域経済の活性化を図る。 ①市内商店街の活性化対策としてイベント等の振興策に対し支援を行い、活性化に努める。 A 商店街等賑わい支援事業(補助金) ※補助対象経費の1/2以内、上限30万円、同一事業の場合は実施年度の翌年度は対象外 ②賑わいのある商店街形成と中小小売企業振興策として家賃補助を実施し、新規企業者等支援及び商店街の活性化を図る。 B 空き店舗等利活用事業(補助金) ※㎡当たり上限2千円、補助対象経費の2/5以内、12カ月間、補助限度額上限8万円 ③仙北市で起業・創業したい人を呼び寄せることで人の流れを新たに作り出すとともに、将来的に雇用創出につなげるため、創業・経営塾を開催する。 C 域内起業家育成支援事業(補助金) ※せんぼく創業・経営塾の開催	A) ・商店街賑わい支援数 2022実績:0件 2024目標:2件 B) ・空き店舗等利活用数 2022実績:2件 2024目標:3件 C) ・創業・経営塾受講者数(累計) 2022実績:46人 2024目標:65人		
課題8	 ○施策名(関係する課) 物産の振興(商工課・伝承館) ○達成水準(KGI) 【KGI】 伝統工芸品販売額 2014実績:10億6千万円 2020実績:2億9千万円 2025目標:3億5千万円 ○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 	伝統的工芸品等の技術継承や原材料確保支援、地場産品の商品開発や地域ブランド化支援を行い、情報発信や販路拡大に努め振興を図る。 ①首都圏にて物産展を引き続き開催し、仙北市産農産物等の販売及びPRを行い、今後工芸品についての出店を視野に入れ販路拡大に努める。 A 特産物販売促進対策事業:山の楽市(東京都町田市) ②原材料確保による安定的な商品製作、各種展示即売会出店による販路拡大及びコラボ商品や新商品開発を行う。 B 樺細工振興事業及び伝統工芸品等振興支援事業(補助金) ③現在伝統工芸樺細工技能後継者育成事業の研修生が1名であり、伝統工芸士等の高齢化が顕著で減少傾向であることから新たな担い手確保に努める。 C 伝統工芸樺細工技能後継者育成事業(補助金)	A) ・山の楽市販売額 2022実績:6,690千円 2024目標:9,633千円 B) ・伝統工芸品生産額 2022実績:2.1億円 2024目標:2.5億円		
課題9	 ○施策名(関係する課) 企業立地の推進と企業活動の支援(商工課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 労働力人口における就業率2015実績:95.4% ・労働力人口 14,146人 ・就業者数 13,499人 2020実績:96.1% ・対動者数 12,485人 2025目標:97.0% (公表時期:2027年5月見込) ※出典:総務省 国勢調査 ○関係計画等 ・第2期仙北市総合戦略 	①2023年度は企業立地事務所に職員2名(東京都1名、秋田県1名)を派遣し、情報収集等の誘致活動を行っている。田沢湖黒沢工業団地及び他の候補地への誘致について検討し誘致に努める。 A 企業誘致対策事業 B 企業立地奨励金 ②新規学卒就職者に対し応援金を支給するとともに、市内未就職者の資格取得の経費を支援し労働力確保に努める。 C 雇用創出事業(ふるさと就職応援金)(補助金) D 雇用対策事業(補助金) ③創業・事業拡大について実施する事業者に対し設備等の導入経費について支援を行う。 E 中小企業活性化支援事業(新規開業)(補助金) ④商談会等において技術や製品の認知強化及び企業連携による新たな技術習得のための支援を実施し、企業力強化を図る。 F 企業力強化支援事業(補助金) ※補助対象経費の1/2以内、上限50万円 ⑤サテライトオフィスの地方設置を検討している首都圏等のデジタル企業にモニターツアー実施等の誘致活動等を行い、定住・居住者の増加や地元若者の雇用の場等の提供をめざす。 G サテライトオフィス誘致PR・企画運営事業	A) ・誘致企業数 目標:1社 B) ・新規企業立地奨励金交付事業者数 2022実績:0社 2024目標:1社 C) 雇用創出事業、雇用対策事業 ・雇用創出事業(ふるさと就職応援金)補助金交付者数 2022実績:15人 2024目標:21人 D) ・雇用対策事業補助金交付者数 2022実績:0人 2024目標:9人		



建設部 部(局) 記入年月日 2023 年 12 月 7 日 部(局)長名 三木 啓元 記入者所属氏名 建設部長 三木 啓元
--

	社会基盤(道路、河川、都市計画、市営住宅、公園、冬期交通対策、温泉、水道、下水道)の維持整備に努めることで、安全・安心で暮らしやすく市民が幸福を感じるまちづくりを推進し、「全国幸福度No.1」を目指しま	2.部の人的 資源(人)	正職員	28
7.000人以前	す。	20230401	会計年度	5

3	(1)市民一人ひとりのために	事業を進める上で、市民からの要望を的確に把握し、常に市民目線での公共サービスの提供に努めます。
・ 6 つ	(2) 常に目標・目的を問い続け	これまでの事務事業を点検し、目標・目的・手法等を状況に合わせ軌道修正していきます。
の重要	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	ICTを始め新しい手法や技術、関連する情報等に関心をを持ち、社会の変化に併せた業務の変革に努めます。
視す	(4)心身共に健康で	健康でなければいい仕事はできません。部課員の心身の状況に配慮し、働きやすい職場をづくりに努めます。
べき	(5)市役所内·市民·企業·団体などと 柔軟に連携し	部の役割・使命を果たすため、庁内各部署や仙北市建設業協会、仙北市管工事協会等と連携を図ります。
値	(6)コスト・成果にこだわる	「最小のコストで最大の成果」を念頭に、限られた予算で最大の効果が発揮されるようこだわっていきます。

4. 取り組	目む課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題	○施策名(関係する課) 安全な水道の供給 (上下水道課) ○達成水準(KGI) 経営基盤の安定化により、持続可能な水道 事業の確立を図ります。 【KGI】 ・経常収支比率(水道) 目標値 2025年度 前年対比 3.0%増 ○関係計画等 ・仙北市水道事業基本計画 ・仙北市水道事業ビジョン ・仙北市水道耐震化・更新計画 (2024.3月予定)	①水道未普及地域解消事業 生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助)を活用して、水道普及率を向上させ、料金収入の増を図ります。 ・卒田地区(2025完成予定) 2024目標進捗率: 82.8%(事業費ベース) ②料金改定を実施し経営基盤の安定化を図ります。 ・水道運営審議会、料金改定説明会 ③老朽管等更新事業 耐用年数を超えた管路を計画的に更新するとともに有収率を向上させることにより、人件費・薬品費・修繕費等の支出抑制を図ります。 財源確保のため、水道管路緊急改善事業(国庫補助)の2024採択予定。 ・内川橋老朽管更新工事ほか ④水道事業のDX化 情報の集約、可視化等により事業の効率化を進めます。 ・スマートメーター導入の検討 ※・水道施設台帳の電子化【済】・水道施設監視システムの導入【済】 ・水道使用異動届オンライン申請【済】	○指標及び目標値 目標値 2024年度 ①水道普及率 67.0% ②④料金回収率 75.0% ③④有収率 51.9%
課題2	○施策名(関係する課) 下水道の整備 (上下水道課) ○達成水準(KGI) 経営基盤の安定化により、持続可能な下水 道事業の確立を図ります。 【KGI】 ・経費回収率 目標値 2025年度 72.0% ○関係計画等 ・仙北市下水道ストックマネジメント計画 ・循環型社会形成推進地域計画 ・仙北市下水道事業経営戦略	①公共下水道事業 経費回収率を向上させるため、整備区域内における接続率を向上させていきます。 ②ストックマネジメント事業 社会資本整備総合交付金事業(国庫補助)を活用して、老朽化した施設設備・管路施設の長寿命化を図ります。 ・田沢湖浄化センター機械設備(2023~9年度) ・白浜幹線上流管路施設(2027~20193年度) ・生保内地区マンホールポンプ(2028~20193) ③仙北市経営戦略策定 ・2023年度に見直した経営戦略を、2024年度中に改定版策定。 ④下水道事業のDX化 情報の集約、可視化等により事業の効率化を進めます。 ・下水道施設維持管理情報のDX化 ※・下水道施設台帳の電子化【済】・水道使用届オンライン申請【済】	○指標及び目標値 補助事業等を活用し下水道施設や設備の長寿命化を図りつつ、経費や費用 の縮減等を図り人口減少の状況等を勘 案した料金水準の再検討により安定した経営基盤の実現に努めます。 ①③使用料増加率 (2019年度を100%として) 目標値 2024年度 119.3% ②④施設の長寿命化 機械・マンホールポンプ+15年 下水管路+50年

4. 取り組む課題と目標とする達成水準(組織目標)		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)		
	○施策名(関係する課) 温泉の安定供給 (上下水道課)	①温泉の安定供給のため、温泉施設の適正な管理運営に努めます。 ・温泉施設の維持管理	○指標及び目標値①供給戸数・口数目標値 2024年度 44戸・134口(現状維持)		
課題3	 ○達成水準(KGI) 供給戸数・口数が減少の中、安定供給により供給数を維持し収入を確保します。 【KGI】 ・普通供給料目標値 2025年度 27,336千円(17千円×134口×12ヵ月) 		(ラレル(かに 1ペ)		
	○関係計画等 —				
課題4	○施策名(関係する課) 道路網の整備 (建設課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 補修完了橋梁数 10橋 道路管理瑕疵による事故発生件数 0件 目標年度 2025 ○関係計画等 ・社会資本総合整備計画	市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施します。 ①道路新設改良事業(A、B、C、D、E) 住民の要望や危険と思われる市道の改良舗装等及び老朽化した橋梁の補修を計画的に進め道路交通網の整備を推進します。 A 社会資本整備総合交付金事業(補助)神代中央線道路改良工事ほか B 道路メンテナンス事業(補助)内川橋ほか C 辺地対策事業 市道久保菅谷線側溝改良工事ほか D 過疎対策事業 市道生保内中央線道路舗装工事ほか E 臨時地方道整備事業 市道西木線道路舗装工事ほか ②道路維持事業(A、B、C) 安全・安心な交通確保のため、適切に道路を管理し、管理瑕疵による事故発生をなく	①補修完了済橋梁数【2022末】 4橋 2023補修完了見込み 2橋 (桧木内橋、安久戸橋) 2024補修完了目標 2橋 (朴田橋、相内川橋) 2025補修完了目標 2橋 (内川橋、神代橋) ②事故発生件数 2022実績 0件 2023見込み 1件 2024目標 0件		
	·仙北市橋梁長寿命化修繕計画 ·過疎地域持続的発展市町村計画	します。 F 道路補修事業 舗装補修工事ほか G 冬期交通対策事業 H 雪寒地域建設機械整備事業(補助) 除雪機械購入			
	○施策名(関係する課)	道路利用者の安全確保と利便性を図るため、カーブミラー、区画線、防護柵、歩道等の整備を行い交通安全の推進を図ります。	①2023整備見込み カーブミラー 5基		
	交通安全の推進 (建設課・総合防災課)	①交通安全施設整備事業 A 道路反射鏡(カーブミラー)設置工事	区画線 9,726m 防護栅 15m 2024整備目標		
課題5	○達成水準 (KGI)【KGI】市民アンケート「防犯体制の充実・交通安全」の満足度を上げる。満足度(市民意識調査) 2023:34%	B 区画線設置工事 C 市道神代西明寺線外防護柵設置工事ほか ②安全·安心道路維持整備事業 市道岩瀬通線歩道整備工事ほか	カーブミラー 5基 区画線 10,000m 防護柵 15m 2025整備目標 カーブミラー 5基 区画線 10,274m		
	○関係計画等 ·第11次仙北市交通安全計画·実施計画		防護柵 20m		
	○施策名 (関係する課)	既存の公園・緑地を安全・安心に利用できるよう維持管理し、自然と調和した潤いのある暮らしを提供できるよう努めます。	①トイレの洋式化 2024 2基(角館駅東公園)		
	公園・緑地の整備 (建設課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 市民アンケート「公園・都市計画の推進」の	また、2023年度末策定(予定)の公園施設長寿命化計画に基づき、施設の修繕計画を立案します。 ①公園維持管理事業 A 生保内公園維持管理事業			
課題6	満足度を上げる。 満足度(市民意識調査)2023:16.3% ○関係計画等	 ・遊具点検業務委託 ・つつじ剪定 ・草刈り、トイレ清掃等 B公園維持管理事業(角館地区) ・角館駅東公園トイレ洋式化工事 ・遊具点検業務委託 			
	・仙北市公園施設長寿命化計画・仙北市都市計画マスタープラン	・草刈り、トイレ清掃等	Over up also the set of		
	(建設課·総合防災課)	①河川改良事業 過去に浸水及び冠水した箇所について継続して河川改良を行い災害の未然防止に	①河川改修延長 豆栗沢川 2023 L=53m 下高野川2023 L=37m· 2024 L=20m·2025 L=20m		
課題7		努めます。 A 下高野川河川改修工事 B 高屋地区排水対策調査測量設計業務委託 ②河川維持補修事業 河川に堆積した土砂等を撤去し河道確保するとともに護岸等の補修を行い浸水被害 等の未然防止及び軽減を図り、併せて土木施設の長寿命化に努めます。	②浚渫実施河川数 2023 3河川·2024 3河川· 2025 3河川		
	○関係計画等 —	A 河川浚渫工事ほか			

4. 取り糸	 目む課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題8	○施策名(関係する課) 住宅·住環境の整備 (建設課) ○達成水準(KGI) 入居率(入居者戸数)100% ○関係計画等 ・仙北市公営住宅等長寿命化計画 ・仙北市耐震改修促進計画(第3期)	①市営住宅管理運営事業 適宜入居募集を行い入居率向上に努めるとともに、入居者が安全・安心で快適な生活が送れるよう既存住宅の補修等計画的に行います。 また、耐用年数が経過し耐震性がない住宅については、空き家になり次第順次解体除却します。(除却対象住宅:武蔵野住宅、玉川住宅、田中住宅、岩瀬住宅) Aニュータウン塚野腰外壁改修工事(2022~2027) ②住宅・建築物安全ストック形成事業(社会資本整備総合交付金事業) 地震による木造住宅の倒壊等の災害を未然に防止し、市民の安全・安心を確保するため、耐震診断と耐震改修の費用の一部に補助を行います。	耐震改修(補助) 1件
課題9	○施策名(関係する課) 都市計画の推進 (建設課) ○達成水準(KGI) 第2次都市計画マスタープラン策定業務および立地適正化計画策定業務に着手する目標年度 2025 ○関係計画等 ・仙北市都市計画マスタープラン	人口減少、少子高齢化社会に対応した安全・安心な都市の形成を図るため、第2次仙 北市都市計画マスタープランの策定に向けて準備をします。 また、国ではコンパクトシティを推奨しており、マスタープランの見直しに併せ計画策定 することが効果的です。持続的で魅力あるまちづくりを進めるため、仙北市立地適正化 計画策定に向けた準備をします。 その他、既存の都市施設の適切な維持管理をします。 ①第2次都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定業務 【関連事業】 ・2022年度 都市計画基礎調査 ・2023年度 コンパクトなまちづくり講習会の実施 【参考(立地適正化計画)】 ・全国では644都市が具体的な取り組みを実施。内、470都市が計画策定・公表。 ・県内では6市(秋田、能代、横手、大館、湯沢、大仙)が策定済、2市町(由利本荘、 小坂)が策定に向け取り組み中。 ※田沢湖駅前広場維持管理事業(KGIに貢献しない事業) A 水景施設維持管理業務委託 B 無散水消雪施設保守点検業務委託 C 無散水消雪施設放熱管洗浄作業委託	計画策定に向けた準備作業 (資料収集·内部検討)



秋田県仙北市

													•	
教育委員会	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	草彅郁太郎	記入者科	北浦教育文化6 学校適正配置 ² 生涯学習課長 中央公民館最 市民会館兼田 学習資料館・イ・ 総合給食センタ		3昌史
.部の役割・使命	教〇を・ア・努・や・人・め・原校校指域育者ま「のであい」	基本有信息 をする ままれる ままれる ままれて ままま できまれて ままま かい はい	取り残さない は、「ふるさまで、ないでは、「かる「誰ででいる」では、がる「誰ででいる」では、また。まれて、まれて、まれて、まれて、まれて、まれて、まれて、まれて、まれて、まれて、	教愛取充「対 左支指 送 努の 大孩 あんしん 大孩 あんしん かん	」、り実で応して、支 る 本発させ、区 教校員 力	の地な ふりる	域育」を 対すい 対するでは、 対策援援 の 支援援の	会の愛プ別に門りを実しり、	現に努めます、 、未来を担うな ジェクト事業でも 支援を充実させる おけるICT活用 で、ICT(情報 総合学習アドバ 備と持続可能で	あい志にあふれる仙北のこども 。 ・ ・ ・ ・と志をもった人材を育てるため	、「キャリ の対応に 臨時休校 配置し一 を示すた	2.部の人的 資源(人)	正職員	55
TO BE VERY VERY BEAUTY	○社会 社会 きるもの 育」を ・公 します。	教育:「誰もな 教育において のとして、他を 理念としたまち 宿活動では、参	思いやる心を づくりを進め か者の状況	って 学を (化を)生 ます。 を見	尊び、 注 涯学 認め、若	ふるさいというできます。	とを よる 参加し	幸福	度向上を目指すい講座の設定	を目指した社会教育」、「同じほ」、「誰もが生涯にわたって学びんとなど、多様性のある公民館活動	続ける教 かを展開	現在	会計年度	80
	・市民会	会館は、市民に	愛される公共	施設	として、	利用	者の	安全	:を確保するため	り、舞台装置など中期的な修繕	計画によ		会計年度	80

・交流の場づくりを進めると共に、市民が親しみやすい図書環境の整備や読書活動の促進、ふるさとを愛し誇れる人 づくりと自分のやりたいことにチャレンジでき、生きがいを感じられる生涯学習を進め心豊かな人々の多いまちを目指

・第4次仙北市社会教育中期計画を確実に施行し一人ひとりの生きがい、やりがい、きずなづくりを支えていきます。

り施設の整備を図ります。

します。

3・6つの重	(1)市民一人ひとりのために	①「誰をも取り残さない教育」を基本理念とし、あらゆる施策を講じてその実現に努めます。 ・児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた計画的、系統的、継続的な学校教育、特別支援教育の充実 ・児童生徒・教職員・保護者・地域住民のそれぞれのニーズに応える学校教育、社会教育、給食の環境整備 ②「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」の姿勢で、今求められている多様性を重視し、市民一人ひとりの知識や教養を高め幸福を感じられる生涯学習機会の提供に努めます。							
	(2)常に目標・目的を問い続け	市職員、教職員、保護者、各種関係協議会、団体などからの幅広い意見に耳を傾け、仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、地域に根差した運営とサービスに重点を置いた市民の幸福度につながる目標、目的を問い続けます。							
	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	①人口減少対策として、ヤマメ・サクラマスプロジェクトを継続し、児童生徒の市内企業訪問や職場体験、市内の企業紹介、人材紹介(ガイドブック作成)など、常に新しい発想でトライします。 ②コロナ禍でも学びを止めない新しい手法と発想で生涯学習、社会教育を展開し、eスポーツの環境整備、公民館事業の新メニューの開拓など若者のゆるやかな交流の場づくりにトライします。 ③GIGAスクール構想として、ICTを活用したシステムの積極的な運用と新しい手法の研究をします。 ④読書活動を推進するために図書館・学校・地域とのネットワークを構築し、本のサブスクやスマホでの予約など新しい発想で充実した読書環境を整えるとともに、テーマ展示やイベントを行います。 ⑤食育をSDGsの視点などの新しい発想で推進します。							
要視すべき	(4)心身共に健康で	①市職員、教職員とも、衛生委員会での情報共有や改善施策の検討をはかり、職場では、常に報告・連絡・相談を徹底し、一人で悩まず、みんなで解決したり気軽に相談したりできる職場環境づくりに努めます。 ②心身の状況に配慮し、働きやすい職場環境をつくるとともに、本人のみならず、家族が健康であることがより良い業務遂行につながるという意識を徹底します。							
· 価値 -	(5)市役所内·市民·企業·団体などと 柔軟に連携し	①地域の重要な位置付けとなっている学校は、地域住民と思いを共有し、協働して活動する地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの導入を推進します。 ②社会教育、生涯学習として障がい者支援機関や若年層組織と柔軟に連携します。 ③読書活動では、園や学校等と地域が連携できるよう支援を行い、各課と連携したテーマ展示を図書館・学習資料館で開催します。 ④給食食材の生産者・納入事業者・提供者が情報を共有し、地域への経済波及効果や食材の安心度が向上するよう積極的に連携します。							
	(6)コスト・成果にこだわる	①市民や子どもたちの学ぶ環境については、安全・安心であることを第一優先とし、コストダウンに努めながら、子どもたちを含む市民に価値ある影響を与え続けます。 ②栄養バランスの取れた食事を継続することで得られる健康の保持増進等は、生活習慣病の予防となるため、将来的な医療費削減に繋げます。 ③仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、成果とコストのバランスがとれた事業を計画的に実行します。							

4. 取り組	Hむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
課題丨	○施策名(関係する課) 未来を担う子どもたちの育成 (北浦教育文化研究所、学校教育課、商工課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 10年後、市内在住高校生の地元企業就職率を70.0%まで引き上げる(2022年度45.0%) ○関係計画等 ・仙北市の教育・ヤマメ・サクラマスプロジェクト	①ふるさとを愛し、地域社会の未来を支える意欲と高い志にあふれる子どもを育てるため次の施策を行う Aキャリア教育・ふるさと学習支援事業 ・各学校の教育目標に沿った地域資源を活かした体験活動 Bヤマメ・サクラマスプロジェクト事業 ・小学生職場体験 ・企業PRポスター作成 ・夢ガイドブック作成 ・中学生職業講座(企業説明会)開催 ・職場訪問・職場体験 ・キャリアマイスターによる講演 C コミュニティ・スクールの推進	AB) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答小学校: 61.8%(2022)→63.0%(2024)中学校: 50.5%(2022)→53.0%(2024) C)コミュニティ・スクール導入校の校(2022)→7校(2024) ※KGIと関連ないが、管理している事業
課題2	○施策名(関係する課) 学校環境(ハード・ソフト面)の充実 (各小中学校、学校教育課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 学校評価の教育環境満足度 75.0%(2022)→80.0%以上(2025) ○関係計画等 ・仙北市の教育・学校施設環境改善計画	A 学校環境改善交付金事業(トイレの洋式化改修工事)	A)事業完了時の市内小・中学校のトイレの洋式化率44.1%(2022)→60.0%以上(2024)B)学校要望事業の実施率60.0%以上(2024)C)学校要望事業の実施率70.0%以上(2024)D)マイクロバス購入1台(2024)E)中学校への部活動指導員配置率60.0%(2022)→100%(2024)
課題3	 ○施策名(関係する課) ICTを活用した学校教育の充実(北浦教育文化研究所、学校教育課) ○達成水準(KGI) 子どもたちが未来に生きるICTスキルを身につける。 【KGI】 全ての学校でタブレット持ち帰り完全実施100% ○関係計画等・値北市の教育・情報学習支援員派遣事業 	①ICTを活用した学校教育の充実のため、GIGAスクール構想推進事業を拡大する A GIGAスクール構想推進事業 ・学校情報支援専門官の配置による環境整備 ・ICT(情報)支援員の配置によるスキルの指導・支援 ・専用回線プロバイダ契約料、フレッツ光ネクスト使用料、 ICT授業サポート業務、保守業務委託、フィルタリングソフト使用料等、 GIGAスクール教職員向け研修、パスワード・ID管理、年次更新、 トラブルシューティング、教育DXへの対応	A)全国学力·学習状況調査児童生徒質問紙「児童生徒が日常的にICTを使っている: 週3以上使用割合 小学校82.7%(2022)→90.0% (2024) 中学校29.6%(2022)→50.0% (2024)
課題4	○施策名(関係する課) 持続可能で望ましい学校の適正配置 (学校適正配置準備室、管財課) ○達成水準(KGI) [KGI] 市民意識調査-学校教育の充実の満足度 「満足+やや満足」の割合 32.3%(2023)→35.0%(2025) ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・仙北市の教育 ・学校適正配置計画(骨子案)	でに「学校適正配置計画」を策定する。 A 学校適正配置関係事業 ・児童生徒の保護者をはじめ市民との意見交換会を開催し、 計画策定に向けて意見交換を行う ・学校適正配置検討委員会を設置し、市民の意見を踏まえた上で、 更に様々な視点から計画内容を検討する ②学校適正配置計画の策定を待たず、2025年度の角館小学校と白岩小学校の統合に向けた準備を進める。 B 角館小学校・白岩小学校統合関係事業 ・統合準備委員会の開催 ・閉校記念事業の実施	A)住民意見交換会等開催回数累計 25回(2022)→II5回(2024) B)統合前児童交流回数 I2回(2024)
課題5	○施策名(関係する課) 若者の交流、定着(土着)支援 (生涯学習課、各公民館、小中学校) ○達成水準(KGI) 【KGI】 《メイン》市民意識調査-生涯学習の推進 の満足度「満足+やや満足」の割合 24.7%(2023)→30.0%(2025) 《サブ》参加等人数8,470人(2025) ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第4次仙北市社会教育中期計画 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト	①仙北市を舞台にふるさとの未来をつくる若者を育てるために次の施策を推進・促進する。 A 学校・家庭・地域連携総合推進事業・地域学校協働本部 B 二十歳の集い C 勤労青少年ホーム管理運営事業	A)地域学校協働活動に係るボランティア(延べ)数 250人(2022)→260人(2024) B)参加率 71.6%(2022)→73.0%(2024) C)勤労青少年ホームの年度利用者数7,000人(2022)→7,500人(2024)

4. 取り組む課題と目標とする達成水準(組織目標)		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)
	○施策名(関係する課)	①多様な学習機会の提供はもとより、自主的な学習活動の支援、学習成果発表の支	
	多様な教育文化の交流の場づくり (生涯学習課、各公民館、市民会館)	援を行なうため、次の施策を行う A 公民館活動推進事業 (若者向けメニューの講座開催) B 仙北市文化祭開催事業	・若者向けメニュー講座 I件(2022)→3件(2024) ・生涯学習講座数
	○達成水準 (KGI) 【KGI】 《メイン》市民意識調査-生涯学習の推進 の満足度「満足+やや満足」の割合 24.7%(2023)→30.0%(2025) 《サブ》参加等人数11,500人(2025)		45件(2022)→ 55件(2024) ·公民館講座参加人数1,583人 (2022)→1,800人(2024) B)文化祭来場者数400人(2022) →1,500人(2024) C)
	○関係計画等・仙北市の教育・ヤマメ・サクラマスプロジェクト・第4次仙北市社会教育中期計画		·自主事業実施数8回(2022)→9回(2024) ·来館者数4,586人(2022) →7,500人(2024)
	 ○施策名(関係する課) 読書活動の推進 (学習資料館、田沢湖図書館、生涯学習課) ○達成水準(KGI) 【KGI】 市民意識調査-読書環境の充実の満足度 「満足+やや満足」の割合 32.9%(2023)→38.0%(2025) 	・学習資料館人材確保(会計年度任用職員)、読書普及びイベントの実施 B図書館サービス拡充事業 ・田沢湖図書館人材確保(会計年度任用職員)、読書普及びイベントの実施 C 学校図書館支援事業 ・各学校人材確保(会計年度任用職員) D図書館情報システム管理運営事業(共通) E 学習資料整備事業(図書の購入) F図書資料購入事業(図書の購入) G 子ども読書活動推進事業(共通)	学習資料館 来館者数 31,093人(2022)→32,000人 (2024) 学習資料館 住民 I 人当たり貸出冊数 2.23冊(2022)→2.30冊(2024) B) 田沢湖図書館 来館者数 20,018人(2022)→21,000人 (2024) C) 学習資料館 児童・生徒 I 人当たり貸出冊数 13.97冊(2022)→16.00冊 (2024) D) 学習資料館 貸出人数 9,293人(2022)→10,000人 (2024)
課題7	○関係計画等 ・仙北市の教育 ・読書条例 ・第4次仙北市社会教育中期計画 ・第2次仙北市子ども読書活動推進計画		田沢湖図書館 13~59歳登録者数における利用者数の割合 7.9%(2022)→9.0%(2024) E) 学習資料館 図書購入冊数 1,693冊(2022)→1,700冊(2024) F) 田沢湖図書館 住民 I 人当たり貸出冊数 2.23冊(2022)→2.30冊(2024) G) 学習資料館 個人貸出冊数(児童) 5,958冊(2022)→6,200冊(2024) 田沢湖図書館 個人貸出冊数(児童) 3,097冊(2022)→4,000冊(2024)
課題8	 ○施策名(関係する課) 地域に根ざした文芸、美術作品の充実と周知(学習資料館・イベント交流館、角館町平福記念美術館) ○達成水準(KGI) 【KGI】 市民意識調査-地域文化の振興と伝統文化の継承・収集・保存・展示の満足度「満足+やや満足」の割合32.3%(2023)→35.0%(2025) ○関係計画等・仙北市の教育・第4次仙北市社会教育中期計画 	A イベント交流館展示事業 B 美術館常設・企画展示事業 C 児童生徒県南美術展開催事業	A) イベント交流館入館者2,739人 (2022)→3,250人(2024) B) 角館町平福記念美術館常設·企画展 示入館者 6,326人(2022)→6,800人 (2024) C) 入館者数2,522人(2022)→2,700 人(2024)
課題9	 ○施策名(関係する課) 安全安心な給食の提供(総合給食センター) ○達成水準(KGI) 【KGI】 給食への満足度を計る指標となる給食残菜率 20.0%(2022)→15.0%(2025) ○関係計画等 	A 給食材料事業(地産地消の推進) B スペシャル給食の実施事業	A) 地元食材の使用率 28.8%(2022)→33.0%(2024) B) スペシャル給食実施回数 II回(2024)
	・仙北市の教育 ・仙北市食育推進計画		



医療局	部(局)	記入年月日	2023	年	12	月	7	日	部(局)長名	村瀬 克広	記入者所	f属氏名	医療管理	課 課長	村瀬克広
Ⅰ.部の役割・使命	な医療	₹提供体制を		度全	国No.I	のま	ちづく	くりに	と努めます。実行	図り、地域の病院として、持続 テにあたり、市民に寄り添った		-	の人的 (人)	正職員	266
7. 即少权部 仪即													30401 見在	会計年度	110

3.6つの重要視すべき価値	(1)市民一人ひとりのために	事業を進める上で、患者の疾病構造の変化などに配慮します。				
	(2)常に目標・目的を問い続け	安定した経営のもとに、良質で持続可能な医療を提供できるよう必要に応じて検討・協議を重ねます。				
	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	医療DXなどの新しい手法を検討することで、次世代のヘルスケア・システムの構築を目指します。				
	(4)心身共に健康で	36協定(労働基準法第36条に基づく労使協定)に加え、宿日直許可の取得など、労務管理の一層の適正化を図り、職員の心身の健康を確保します。				
	(5)市役所内・市民・企業・団体などと 柔軟に連携し	地域包括ケアの連携強化に向け、多職種による連携を積極的に推進します。				
	(6)コスト・成果にこだわる	購買適正化等を推進し、経費の削減や業務の改善に繋げます。				

4. 取り組	Aむ課題と目標とする達成水準(組織目標)	課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)		
	○施策名(関係する課) 役割·機能の最適化と連携の強化 (田沢湖病院、角館総合病院、医療管理課、経営企画推進室) ○達成水準(KGI)	このため、地域の中で各公立病院が担うべき役割や機能を改めて見直し、明確化、 最適化した上で、病院間の連携を強化する「機能分化・連携強化」を推進します。 A 秋田大学との連携	·入院患者数(1日平均) 田沢湖病院:2022(41.7人)、2024 (52.0)人 角館総合病院:2022(121.2人)、 2024(145.0人) ·外来患者数(1日平均) 田沢湖病院:2022(107.2人)、 2024(130.0)人		
	市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度(病院等の充実)40%以上 ・経常収支比率98.45%以上 ・患者満足度調査(入院・外来)50%以上 ○関係計画等 ・仙北市地域医療計画 (公立病院経営強化プラン)	B 大曲厚生医療センターとの連携強化 (医師派遣、入院患者の転院、医療機器の共同利用) C 田沢湖病院と角館総合病院の連携強化(医療スタッフの連携) D 近隣病院、派遣元病院との連携強化(患者紹介等) ※患者満足度調査実施(両病院共通 2023~) ■病院機能 ●田沢湖病院 E 地域包括ケア病床の運用等 ●角館総合病院 F 診断群分類包括評価(DPC)の導入 G 病棟薬剤師の配置等	角館総合病院:2022(435.9人)、2024(465.0人) ·診療単価(入院) 田沢湖病院:2022(23,325円)、2024(25,500円) 角館総合病院:2022(39,877円)、2024(41,911円) ·診療単価(外来) 田沢湖病院:2022(6,769円)、2024(7,000円) 角館総合病院:2022(9,882円)、2024(10,129円)		
課題2	○施策名(関係する課) 医師·看護師等の確保と働き方改革の推進 (田沢湖病院、角館総合病院、医療管理課、 経営企画推進室)	善を進めながら、医療スタッフの確保を図ります。 また、2024年4月から、医師の時間外勤務の時間が大幅に削減となります。 大学や医療機関(派遣元)から、派遣先となる医療機関で日直や宿直の業務を行う 場合、派遣先の病院で上記の許可を得ていないと、日直や宿直の派遣をもらうことが 困難な状況となります。 救急告示病院など救急外来を現状のまま維持してくには、医師の確保(偏在化の解 消)もしくは、労働基準局からの許可が必要となるため、大曲労働基準監督署との協 議を行い、許可対応に努めます。 ※2023年10月現在で、産婦人科については、取得済みであり、今後は救急外来部 門について許可を得るための事務作業を行います。 H 医師、看護師等を目指す人材育成 (中高生の医療現場体験等・教育委員会等との連携) I 仙北市修学資金貸与制度の推進 ※職員やりがい度調査実施(両病院共通 2023~)			
	市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度(病院等の充実)40%以上 ・経常収支比率98.45%以上 ・職員やりがい度調査50%以上		·医師等修学資金貸付金貸与者数 (看護師枠)		
	○関係計画等・仙北市地域医療計画(公立病院経営強化プラン)				

4. 取り組む課題と目標とする達成水準(組織目標)		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値(KPI)		
課題3	(田沢湖病院、用館総合病院、医療管理課、経営企画推進室) ○達成水準(KGI) 新興感染症の感染拡大時や災害などの大規模な健康危機への積極的な対応に努め、自治体病院としての責務を果たす 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度(病院等の充実)40%以上	①新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 国の第8次医療計画の記載事項として「新興感染症等の感染拡大時の医療」が加 わることを踏まえ、感染拡大時に活用しやすい病床等の整備、各医療機関の間での 連携・役割分担の明確化、専門人材の確保・育成等に努めます。 J新型コロナウイルス感染症患者の両病院での入院受入れ K発熱外来の設置(継続)	・新型コロナウイルス感染症患者病床 の確保 田沢湖病院:2022(0床)、2024(2 床) 角館総合病院:2022(17床)、2024 (8床) ・発熱外来患者数 田沢湖病院:2022(1,154人)、 2024(700人) 角館総合病院:2022(5,113人)、 2024(3,830人)		
	(田沢湖病院、用館総合病院、医療官埋課、 経営企画推進会)	により、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進めていくことは避けては通れませ	※上記課題 I の目標値、患者数、診療 単価(入院、外来)と同じ ・材料費(薬品費等)、経費 病院事業:2022(1,313,320千		
課題4	○達成水準(KGI) 市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度(病院等の充実)40%以上 ・経常収支比率98.45%以上 ・材料費対医業収益比率 田沢湖病院12.9%以下 角館総合病院16.7%以下	ん。積極的にデジタル化を推進し病院運営の効率化や医療の質の向上に繋げます。 L 購買適正化の推進 M 医療Maasとの連携 ●田沢湖病院 N 電子カルテシステムの導入 ●角館総合病院 O 急性期画像連携等	田沢湖病院: 2022(218,037千円)、2024(265,000千円) 角館総合病院: 2022(1,095,283年円)、2024(1,143,000千円)		
	・仙北市地域医療計画(公立病院経営強化プラン)				